

第 35 回 理事会議事録

一般社団法人日本ねじ工業協会

開催日時：2021 年 12 月 2 日（木）13：00～15：00

開催方法：Web 会議（Zoom）

現在の理事数 10 名

出席した理事数 10 名

現在の監事数 2 名

出席した監事数 1 名

（順不同、敬称略）

○理事出席（10 名）

代表理事（会 長）	椿 省 一 郎	株式会社互省製作所
理 事（副会長）	佐 藤 義 則	株式会社サトーラシ
”（副会長）	長谷川 裕 恭	株式会社メイドー
”（副会長）	後 藤 晴 雄	株式会社朝日押捻子製作所
”（副会長）	高 須 俊 行	富士セイラ株式会社
”（副会長）	望 月 紀 人	クラウン精密工業株式会社
”（副会長）	樫 本 隆 之	株式会社三和鋐螺製作所
”（副会長）	嶋 田 守	株式会社フセラシ
”	北 井 敬 人	ケーエム精工株式会社
業務執行理事（副会長）	藤 田 守 彦	藤田螺子工業株式会社

○監事出席（1 名）

監 事	山 口 誠 一	株式会社山口ナット
-----	---------	-----------

○理事欠席（0 名）

○監事欠席（1 名）

監 事	池 田 裕 之	池田金属株式会社
-----	---------	----------

○議 題

1. 幾何公差講演会について
2. 中部支部の所在地登記について
3. 60 周年記念事業について
4. 役員の在り方について
5. 2022 年 行事予定（案）について
6. 報告事項

○議 事

藤田業務執行理事から定数を確認し、10 名の理事本人が Web 会議に参加しているので理事会が有効に成立している旨を報告し、その後、会長より開会の挨拶があった。

その後、会長が議長となり議事に入った。

議題1 幾何公差講演会について

事務局より、資料1-1にもとづき、幾何公差講演会を日本ねじ研究協会と共催で開催したい旨説明。

会長より、議場に諮り異議なく承認された。

議題2 中部支部の所在地登記について

藤田業務執行理事より、現在、当協会の従たる事業所として、関西支部事業所と中部支部事業所が登記されているが、中部支部については支部事業所としての実態はないため登記上、中部支部の従たる事務所を削除したい旨説明。

会長より、議場に諮り異議なく承認された。

議題3 60周年記念事業について

協会創立60周年記念事業について、藤田副会長・60周年記念事業実行委員長より、再延期した記念式典、講演会、祝宴について、実行委員会としては2022年3月3日にホテルにおいてリアルで開催したい旨提案の後、意見交換を実施した。意見交換の結果、大人数が一堂に会場に集まること及び懇親会実施について抵抗がある方もおいでになるのではないかと意見があり同提案は一旦保留することとなった。それを受け藤田実行委員長より、これまで記念式典は3回延期してきたが、他に計画し承認を頂いた60周年記念事業は進めてきており、実行委員会としては、一度記念事業に区切りを付けるという意味で、記念式典は執り行いたい。その方法としてWebを活用するなどどんな形式なら出来るのか含めて何らかの実施案を検討したい旨説明があった。実行委員会より実施案を提案するので次回理事会で審議することとなった。

また、高須副実行委員長より、60周年記念表彰について経済産業省とは調整中である旨及び60周年記念誌は予定どおり発行する旨説明の後、進捗状況の報告があった。

議題4 役員の在り方について

先ず、これまで政策委員会の中で審議してきた協会組織変革については、政策委員会から指名された佐藤副会長、藤田副会長、樫本副会長の3人の代表による検討会で検討してきているため、その状況について3人の代表からの報告があった。

その藤田副会長からの報告では、本当の意味で協会変革をしていくには現体制（理事）の中で協会変革を検討していくのではなく、先日発表された「協会変革ビジョン」をもとに、新たにこのビジョンに賛同した会員の中から選んだ変革委員会（仮称）を立ち上げた上で、協会変革を推進していく方が、会員に必要とされる真の協会変革に繋がるのではないかと判断して3人の代表による検討会は解散をお願いしたい旨報告があった。

それを受け樫会長より、役員は、昨年の総会で決定したとおり、来年（2022年）の総会で改選となる。現理事会で、総会に提案する次期役員推薦案を検討していくとなれば、次期会長候補を決めることが先決事項であるとの説明の後意見交換を実施した。

意見交換では様々な意見が出たが、このまま意見が纏まらず次期会長候補が決まらないという協会の存続が危ぶまれる事態になることだけは避けるべきであるとの認識で、椿会長より次期会長候補を決定するための自薦、他薦について議場に諮った。

その結果、藤田副会長より、今回 60 周年記念事業実行委員長として「協会変革ビジョン」に携わったという経緯もあり、今後の協会変革への道筋を付ける責任があるので、次期会長候補がいないのであれば立候補させて頂くとの発言があった。

それを受け椿会長より、他薦も含めて他の候補者（推薦）について議場に諮ったが他にいなかったため、次期会長候補者として藤田副会長を推薦する是非について議場に諮った。結果、特に反対意見はなく、次期会長候補として藤田副会長を選任した。

その後、藤田副会長より、次の社員総会に上程する次期役員（理事・監事）候補案の作成については、一任させて貰いたい旨提案があったが、役員（理事・監事）候補案作成と会長・副会長・専務等の選任は理事会での互選となっており、理事会での決議が必要であることから、次回緊急理事会を 2 月 16 日（水）に開催すると決め、藤田副会長案を次回理事会で審議することとなった。

最後に、協会組織改革等の重要案件については、これまで政策委員会（会長・副会長）で検討してきているが、今後は機関決定とするために理事会開催としていく旨説明があった。

議題 5 2022 年 行事予定（案）について

藤田業務執行理事より、資料 1－2 にもとづき 2022 年 行事予定案を説明した。

なお、資料にある 3 月の記念式典は、議題 2 のとおり一旦保留とするため修正する旨説明があり、会長より、議場に諮り異議なく承認された。

○報告事項

- ・事務局より Zoom の画面共有にもとづき、本日までの事業活動報告及び今後の予定等について報告を行った。
- ・資格委員会事業について、佐藤副会長・資格委員長から、ねじ製造技能検定試験の確立のためにご協力いただきたい事項について、以下のとおり報告があった。

<検定委員会への委員の推薦>

ねじメーカー並びにねじ製造機械メーカーから推薦いただいた委員で構成された、ねじ製造技能検定事業を担当する検定委員会への新たな委員の推薦にご協力をお願いしたい。

<実機による模擬（トライアル）試験実施への協力>

実機試験実施のために、実機による模擬（トライアル）試験を実施してきており、可能であれば多種多様なねじ製造機械で模擬（トライアル）試験を実施したいため、この模擬（トライアル）試験の実施を受入れて貰える企業のご協力をお願いしたい。

<検定試験官の推薦>

実機実技試験では、検定試験官が受検者の企業に出向いて試験実施するため、新たな検定試験官の推薦にご協力をお願いしたい。

以上で議事の全てを終了し、15：00 に閉会した。

以上の議決を明確にするため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに押印する。

2021 年 12 月 2 日

一般社団法人日本ねじ工業協会

会 長 椿 省 一 郎



議事録署名人 藤 田 守 彦



議事録署名人 山 口 誠 一

